

福島子ども健康プロジェクトだより

Vol.1

生活記録づくりを通じて、福島親子の「新しい日常」への伴走

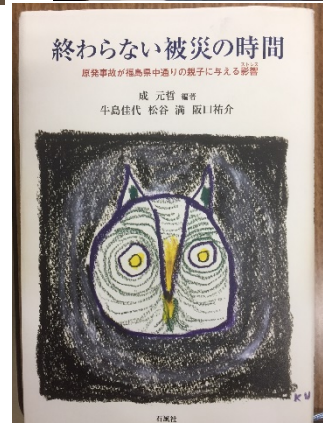
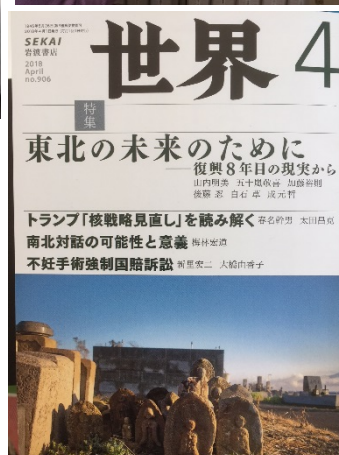
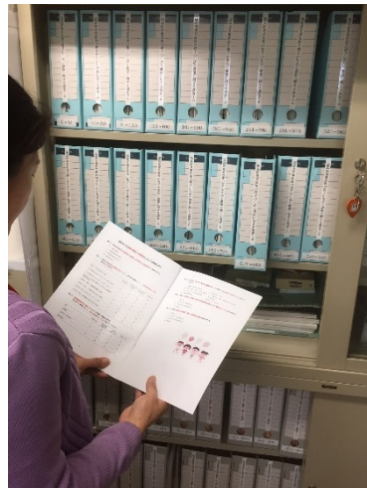
福島子ども健康プロジェクトは、3.11 後、避難区域外の福島県中通り9市町村で子育て中のお母さんたちが感じていることを記録として残すために、2013年から毎年1月にアンケート調査を行ってきました。アンケート調査では、その時々のお子さんやお母さんの生活の様子と健康状態、地域での生活などについてたずねています。時が経つにつれ、親子の暮らしと健康がどのように変化していくのか、お子さんが成人するまで定期的に記録し、必要な施策につなぐとともに、次の世代に伝えることが、その目的です。東日本大震災・福島原発事故という非日常から「新しい日常」への道のりを、生活記録づくりを通じての伴走です。

日々お忙しい中、難しいかもしれませんが、年に一度、立ち止まって、私たちと一緒にお子さんとご自身について記録を残す作業にお時間を割いていただけませんか。あわせて、毎年、アンケート調査対象者に福島県内でお会いして1時間ほどインタビューも行っています。当プロジェクトの事務局から連絡がありましたら、ご都合がつく方はインタビュー調査にもどうぞよろしくお願い申し上げます。

2018年5月8日

福島子ども健康プロジェクト

成元哲



活動記録

(下線のあるものは、福島子ども健康プロジェクトのホームページからダウンロードしてご覧いただけます)

- 2011.11 「子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク」の関係者にインタビュー調査(東京都)
- 2012.2 避難・保養のための全国集会「放射能からいのちを守る全国サミット」(福島市)に参加し、避難・保養をめぐる相談の様子を取材。
- 2012.6 福島県母親大会(二本松市)に参加し、取材。
- 2012.6 福島市内の母親サークルの主催者へのインタビュー調査。
- 2012.6 福島市内の幼稚園・保育園の園長、保護者、保育士へのインタビュー調査。
- 2012.11 福島県中通り9市町村の子ども関係部署の担当者にインタビュー調査。またアンケート調査に対する後援名義使用を申請し、8市町村から承認を得た。
- 2012.11 コープふくしま、福島民友新聞社、福島民報社からアンケート調査の後援を得た。
- 2013.1 第1回アンケート調査を実施。
- 2013.1~3 調査対象者からアンケート調査に対する苦情や意見が多数寄せられた。
- 2013.2 福島市、郡山市でアンケート調査対象者にインタビュー調査の実施。
- 2013.3 NHK熊本「ニュース番組 東日本大震災2年 特集:水俣の教訓を福島の子どもたちに」の番組で当プロジェクトの調査研究が紹介された。
- 2013.3 中日新聞「線量の不安は?暮らしは? 避難地域外の母子調査 中京大など 福島9市町村で数年追跡」で当プロジェクトの調査研究が紹介された。
- 2013.6 環境三学会合同シンポジウム2013「原子力被害とその救済」(明治大学)にて「終わらない被災の時間ー福島県中通り9市町村の原発事故後の親子の生活と健康に関する調査」という題で報告。
- 2013.6 調査対象者が「調査票が送られてきて、震災・原発事故を思い出し、眠れなくなった」と福島県弁護士会に人権救済申立し、当プロジェクトはそれへの答弁書を提出。
- 2013.7 第1回調査報告書を作成し、調査対象者、福島県庁、9市町村役場、報道機関に送付。
- 2013.9 調査結果の報告会&親子でできるストレスマネジメント講座を福島市(福島市民会館)と郡山市(ニコニコこども館)で開催。
- 2013.9 福島市、郡山市でアンケート調査対象者にインタビュー調査の実施。
- 2014.1 第2回アンケート調査を実施。
- 2014.3 福島市でアンケート調査対象者にインタビュー調査の実施。
- 2014.4 第2回「原発と人権」全国研究・交流集会(福島大学)で調査結果を報告。
- 2014.7 第2回調査報告書を作成し、調査対象者、福島県庁、9市町村役場、報道機関に送付。
- 2014.9 『中京大学現代社会学部紀要』に「1,200 Fukushima Mothers Speakーアンケート調査の自由回答にみる福島県中通りの親子の生活と健康」を掲載。
- 2014.9 『アジア太平洋レビュー』(11号)に「福島原発事故後における「自主避難」の社会的規定因ー福島県中通り地域の母子調査から」を掲載。



- 2014.10 『ストレス科学研究』(29号)に「福島県中通りの子育て中の母親のディストレス持続関連要因－原発事故後の親子の生活・健康調査から」を掲載。
- 2014.11 『中京大学現代社会学部紀要』に「700 Fukushima Mothers Speak－2014年アンケート調査の自由回答にみる福島県中通りの親子の生活と健康」を掲載。
- 2014.12 「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟の原告弁護団からの依頼で福島地方裁判所に意見書を提出。
- 2014.12 環境社会学会シンポジウム(龍谷大学)にて「水俣と福島の経験から」の題で報告。
- 2015.1 第3回アンケート調査を実施。
- 2015.1 当プロジェクトの成元哲が福島地方裁判所で原発事故被害立証のための専門家証言。
- 2015.3 福島市でアンケート調査対象者にインタビュー調査の実施。
- 2015.3 第1回アンケート調査の成果を書籍『終わらない被災の時間』として刊行。
- 2015.3 NHK熊本「クマロク 東日本大震災4年 福島の子どもと母親への影響調査まとまる」の番組で、当プロジェクトの調査成果『終わらない被災の時間』が紹介された。
- 2015.5 毎日新聞「東日本大震災：福島第1原発事故 2013～15年にアンケ「福島子ども健康プロジェクト」成元哲・中京大教授に聞く／福島」で当プロジェクトの調査研究が紹介された。
- 2015.6 原発事故子ども・被災者支援法3周年シンポジウムにて「福島県中通りの親子の生活変化と健康状態－原発事故からの真のレジリエンスを求めて」の題で講演。
- 2015.11 第3回調査報告書を作成し、調査対象者、福島県庁、9市町村役場、報道機関に送付
- 2016.1 第4回アンケート調査を実施。
- 2016.2 朝日新聞「(東日本震災5年 福島からの報告:1)事故5年、消えない不安と溝」に当プロジェクトの調査研究が紹介された。
- 2016.3 近畿弁護士連合会シンポジウムにて「福島原発事故後における自主避難の社会的規定因」の題で講演。
- 2016.3 福島市、郡山市などでアンケート調査対象者にインタビュー調査の実施。
- 2016.4 愛知県被災者支援センター主催の「県外避難者の現状と支援を考える公開セミナー」で、「福島原発事故後の生活変化と健康影響」の題で講演。
- 2016.5 「水俣病公式確認60年記念特別講演会」(東京大学)にて「被災者たちの声：水俣と福島」の題で講演。
- 2016.6 第4回調査報告書を作成し、調査対象者、福島県庁、9市町村役場、報道機関に送付。
- 2017.1 第5回アンケート調査を実施。
- 2017.1 「生業を返せ、地域を返せ！」福島原発訴訟の原告弁護団からの依頼で、意見書2を福島地方裁判所に提出。
- 2017.1 広島弁護士会シンポジウムにて「原発事故被災地滞在者の生活障害について」という題で講演。
- 2017.3 福島市、二本松市などでアンケート調査対象者にインタビュー調査。
- 2017.3 『中京大学現代社会学部紀要』に「原発災害からの生活復興とはなにか－2015年調査の自由回答欄にみる福島県中通りの親子の生活と健康」を掲載。



- 2017.6 第5回調査報告書を作成し、調査対象者、福島県庁、9市町村役場、報道機関に送付。
- 2017.7～8 福島市、郡山市、本宮市、二本松市でアンケート調査対象者にインタビュー調査。
- 2017.8 原水禁世界大会報告集会（名古屋市北医療生協）にて「福島第一原発事故から考える被災者：子ども達のいま」という題で講演。
- 2017.12 NHK 福島のディレクターとの対談をホームページに掲載。
- 2018.1 第6回アンケート調査を実施。
- 2018.3 原発事故から7年を迎えて：福島子ども健康プロジェクトの見解をホームページに掲載。
- 2018.3 NHK 福島「ハートネットTVシリーズ東日本大震災から7年 第3回 母親たちの原発事故―“消えない不安”の日々」で、当プロジェクトの調査研究が紹介された。
- 2018.3 福島市、郡山市でアンケート調査対象者にインタビュー調査。
- 2018.4 NHK 福島「おはようふくしま」に当プロジェクトの調査研究が紹介された。
- 2018.4 『中京大学現代社会学部紀要』に「原発不安に関する考察」、「福島原発事故から『新しい日常』への道のり」、「持続する不安、前向きな態度」を掲載。
- 2018.5 第6回調査報告書を作成し、調査対象者、福島県庁、9市町村役場、報道機関に送付。

保護者の方からの声

こうして、アンケートや、調査をしている所も、ほとんど減ってきている中、このことについて、大事に大切に調査してくださっている方がいらっしゃると思うと、力にならなければ！そして、この様な事が二度とおきないようにしなければならぬと思います。（郡山市のSさん）

皆様からのお便りやご意見をお待ちしています。

下記までお寄せください。

福島子ども健康プロジェクト

〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立 101

中京大学 そん うえんちよる 成元哲 研究室

TEL&FAX:0565-46-6516(直通)

E-MAIL:sungwonc@sass.chukyo-u.ac.jp

HP:<https://fukushima-child-health.jimdo.com/>

